授業科目名・形態	統合実習Ⅰ（看護管理・チーム医療）実習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	井澤　美樹子　他	実務経験の有無	有	開講期	４年前・後期
科目ナンバリング	N7-4019npmht				

【授業の主題】

これまで学んだ知識・技術の統合を図ると共に自ら選択した領域や分野の看護の専門性を探求することで、自らの看護観を明確にする。看護チームの一員として、看護管理の視点を持ち複数患者を受け持ち、多重課題を通して実務に即した看護実践能力を養う。

【到達目標】

1．統合した知識をもとに患者の状態の判断ができる。
2．病院組織における看護部の位置づけや看護管理の実際について理解できる。
3．病院組織における医療安全管理（医療安全管理体制、院内感染対策、災害の対応等）の位置づけや重要性が理解できる。
4．複数患者を受け持ち、患者の状態にあった援助方法の選択と実施ができる。
5．チームの一員としての役割や協働、メンバーシップ、リーダーシップが理解できる。
6．カンファレンスで自己の課題と達成状況をわかりやすく発言できる。
7．「統合実習Ⅰの学び」についてテーマに沿ってグループで協働し発表できる
8．卒業時の看護技術の習得状況が総合評価できる。
9．将来の看護師（保健師、助産師）としての自己の看護観を深めることができる。
10．看護専門職業人としての自己の課題を明確にした自己研磨する能力を養う。
11．実習前、中の自己の体調管理ができ、きちんとした身だしなみ態度で実習ができる。

【授業計画・内容】

実習内容

1．自ら選専門性を追求できる領域、分野を選択し実習病院を決め実習で看護の専門性を探求します。
2．事前学習で看護管理、医療安全管理、院内感染管理、災害対策、チームリーダーシップ、チームメンバーシップ等知識をつけます。また、学内で看護技術演習し技術力をつけます。
3．臨地実習で、看護部長、医療安全管理者、院内感管理者、看護師長など部署の管理者から役割を学びます。
4．病棟では、複数患者を受け持ち自己の実習目標にあわせチームリーダーやチームメンバーの指導を受け看護実践を行います。多職種連携についても学びます。
5．卒業時看護技術到達度に沿って看護技術の習得を意識し積極的に指導者の下で実践します。
6．学内実習として「統合実習Ⅰの学び」をグループで協働し発表をおこない学生全体で学びを共有します。
7．将来の看護師（保健師・助産師）としての自己の看護観を深めるレポートの提出を行います。

【授業実施方法】

学内演習・臨地実習

【授業準備】

これまでの講義及び演習、臨地実習で学んだことを復習してください。特に看護管理、医療安全、感染対策、院内災害対策、チームナーシング、看護技術等です。

また、卒業時看護技術到達度の未経験の看護技術は、知識をつけ実践できるように準備をしてください。

【主な関連する科目】

全ての看護学に関する授業・演習及び臨地実習

【教 科 書 等】

これまでの看護学全般の授業でのテキストおよび資料

【参考図書】

適宜提示する

【成績評価方法】

統合実習Ⅰ評価票での評価100%（事前学習、実習状況、記録およびレポート等の総合評価）

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

幅広い経験から、多様な視点で看護管理、医療安全管理、院内感染管理を捉えることができます。実習では、実習指導者と連携し指導を行っていきます。

【学生へのメッセージ】

この実習では、これまで学んだ知識・技術の統合を図り看護チームの一員として実習で学び自己の看護観を深めます。将来の看護専門職業人として自己の課題を明確でき自己研磨する能力を養うことにつながります。満足できる貴重な体験になるように共に頑張っていきましょう。